



八幡幼稚園 あっぴる つうしん

令和3年10月1日 近江八幡市立八幡幼稚園

教育目標 **笑顔あふれる八幡幼稚園**
元気な子 感じ考えがんばる子 なかよくする子



コロナ感染症の感染拡大が心配される中ではありますが、感染症対策を講じながら、8月30日、2学期がスタートしました。保護者の方にもご協力をいただき、毎日の健康観察、マスクの着用、入室前の手指消毒の徹底等をはじめ、園内では、よく触るところの消毒、給食時のパーテーション使用などを行っています。また、降園後の掃除、おもちゃ等の消毒などどこまでやっても万全ではありませんが、安心安全な園生活を送れるようにと願いながら日々過ごしています。まだ暑さの残る季節なので、熱中症の対策も同時並行です。



給食は、パーテーションを立てて静かに「いただきまーす！」

9月に入ると涼しい日もあり、園庭にも秋を感じる楽しいことがいっぱいです。これまでも園庭でダンゴムシを探したり、小さなバッタを見つけたりしていましたが、1学期には見られなかった様々な虫たちに出会っています。

大きなバッタを見つけたときには、興味をもった3歳児の子どもたちが集まってきて「なにになに?」「バッタ?」「触ってみよう」とおそるおそる・・・そーっと触ってみた子どもたち。ものすごく真剣な表情で、虫との『出会い』を存分に味わっていました。4歳児、5歳児は、畑や草が伸びているところなど、虫のいそうなところに行って虫つかみを楽しんでいます。バッタにコオロギ、キリギリス・・・園庭にはいろいろな虫たちがいるようです。このような生き物との関わりから心を動かされ、驚いたり、不思議さを感じたり、何かに気付いたりできる、そのような自然との関わりのお機会を大事にしています。



**ドキドキ・・・
バッタにさわってみよう!**



**協力してカキ取り
感じ考え・・・がんばってます!**

園庭には、実のなる木がいろいろあります。(カキ、ザクロ、カリン、ミカン、キンカンなど)

ちょうどカキがおいしそうに色づいてきて、3、4歳児は落ちてきた実を拾ったり先生にだっこしてもらって取ったりしました。

5歳児はというと、用務員の北川さんに作ってもらったカキ取り棒で、実のついた枝を棒の割れ目に挟んでねじっていきます。なぜか虫取りあみをもった子もいます。「カキが落ちてきたらここに入れるねん。」じつはカキを取っている時に頭の上に実が落ちたことがあって、危なくないようにと子どもたちが考えたようです。大人が取ってあげるの簡単ですが、子どもたちが自分たちでどうしたらいいか考えてやってみることで、より意味のある貴重な経験となったようです。

